

「交通まちづくりシンポジウム」開催概要

1. 日 時 平成19年11月4日(日) 午後2時～4時30分
2. 会 場 市立あじさい会館ホール
3. 来場者 300名

4. 内容

(1) 主催者あいさつ(成川会長)

「本協議会の5年目の節目と基地返還を捉えて、この会を開催しました。小田急多摩線が相模原市へ来るように頑張るので、御支援をいただきたい。」



(2) 来賓あいさつ

加山俊夫相模原市長

「小田急多摩線の延伸は、本市のこれからの発展等を考えると、どうしても実現させなければならない大きな事業である。」



稲垣稔相模原市議会議長

「小田急多摩線の市内への延伸は、市議会としても、積極的な取り組みを進めていきたい。」



抱山洋之小田急電鉄交通企画部長

「相模原地区への小田急多摩線の延伸や公共交通の充実は、小田急グループの目指す方向と一致しており、地域が益々発展するよう出来る限りの努力をしていきたい。」



(3) 活動報告(司会者)

これまでの活動経過や今後の活動計画について、報告をいたしました。

(4) 基調講演

黒川和美法政大学経済学部教授

相模原・町田地域のポテンシャルの高さや小田急多摩線延伸の必要性について、講演いただきました。



(5) パネルディスカッション

コーディネーター：黒川和美教授

パネリスト：山内弘隆一橋大学大学院商学研究科長・商学部長、
マリ・クリスティーヌさん
加山俊夫市長
成川猛会長

黒川教授の進行で、小田急多摩線の市内乗り入れを中心に、交通やまちづくりについて、パネリストの方それぞれの立場から意見を発表していただきました。



以上